

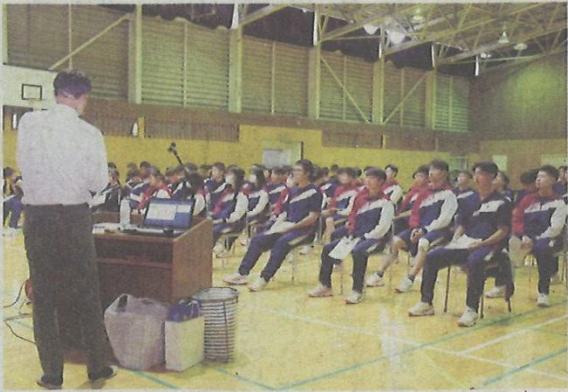
野辺地西高生が 金融知識を学ぶ

マネックス証券と
青い森信金が講義

青い森信用金庫と八戸市に事業所を置くインターネット証券大手のマネックス証券(東京)は7日、八戸学院野辺地西高で金融教育を実施した。銀行の役割やローン、投資の仕組みなどについて専門家が分かりやすく説明し、生徒が正しい金融知識を身に付けた。

2022年に成人年齢が20歳から18歳に引き下げられ、18歳から保護者の同意なしにローン契約などが可能となった。同金庫と同社は暮らしに役立つ金融知識を生徒に身に付けてもらおうと、大学や高校で講義を行ってきた。

同日は同校の2、3年生約90人が受講した。講師を務めた同金庫人事部の中山貢次長はクレジットカードやローンのメリット、デメリットなどを説明。同証券コネクトセンターの中村瞳さんは投資信託や株式などの主な金融商品を紹介し「ノーリスクで利益は得られない。SNS(交流サイト)などの情報には注意が必要」と呼びかけた。



講師から銀行の役割やローンの仕組みなどについて説明を受ける生徒117日、野辺地町